

事務事業名		し尿処理費等負担金事業			☐ 実施計画登載事業		☐ 合併建設計画登載事業				
政策体系	政策名	02自然豊かな環境の保全と創造			事業期間		予算科目				
	施策名	06廃棄物の排出抑制と適正処理					会計	款	項	目	事業
	基本事業名	03し尿の適正処理の推進					01	04	02	03	00
根拠法令											
所属	部課名	生活福祉部市民生活環境課									
	係名	環境衛生係	電話	0192-27-3111							
			内線	124							
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)							全体計画(期間限定複数年度のみ)				
◆大船渡市、陸前高田市及び住田町が平成10年3月、し尿の収集、運搬及び処分に関する事務等を行うため設置した気仙広域連合に対する負担金を支出する。 負担割合 管理運営費 均等割 100分の20、人口割 100分の80 し尿処理に係る管理運営費 均等割 100分の20、利用割 100分の80 ◆業務内容は、①負担金の支出、②組合議会・衛生運営会議等開催時の連絡調整、③組合関連議案作成 ◆事業費は、負担金として支出される。							総 投 入 量 (千 円)	事 業 費 内 訳	国庫支出金		
									都道府県支出金		
									地方債		
									その他		
									一般財源		
							事業費計 (A)		0		
							人 件 費	正規職員従事人数			
								延べ業務時間			
								人件費計 (B)		0	
							トータルコスト(A)+(B)		0		

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標		活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
手段(主な活動)		名称	
前年度実績(前年度に行った主な活動)		単位	
広域連合の処理する事務ごとに定めた均等割、人口割、利用割で算出した分担金を支出する。		ア	し尿受入量
			kℓ/年
今年度計画(今年度に計画している主な活動)		イ	浄化槽汚泥受入量
前年度と同様			kℓ/年
		ウ	処理施設稼働日数
			日/年
対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等		対象指標(対象の大きさを表す指標)	
(直接の対象) 気仙広域連合		名称	
(間接の対象) 市内から排出されるし尿・浄化槽汚泥		単位	
		カ	気仙広域連合決算額(衛生費)
			千円
		キ	処理施設能力
			kℓ/日
		ク	
意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)		成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	
し尿・浄化槽汚泥が適正に運搬、処分される。		名称	
		単位	
		サ	汚泥、し尿の処理残差量 (一般廃棄物処理事業実態調査)
			トン
		シ	
		ス	
結果(基本事業の意図:上位の基本事業にどのように貢献するのか)			
排出されたし尿・浄化槽汚泥を適正に処理する。			

(2) 総事業費・指標等の推移			年度	17年度 (実績)	18年度 (実績)	19年度 (実績)	20年度 (実績)	21年度 (実績)	22年度 (実績)	
			単位							
投入量	事業費	財源内訳	国庫支出金	千 円						
		都道府県支出金	千 円							
		地方債	千 円							
		その他	千 円							
		一般財源	千 円	85,822	91,949	91,739	109,011	115,066	103,831	
		事業費計 (A)	千 円	85,822	91,949	91,739	109,011	115,066	103,831	
	人件費	正規職員従事人数	人	1	1	1	1	1	1	
		延べ業務時間	時 間	40	40	40	40	40	40	
		人件費計 (B)	千 円	160	160	160	160	160	160	
		トータルコスト(A) + (B)		千 円	85,982	92,109	91,899	109,171	115,226	103,991
活動指標	ア	kℓ/年	27,605	27,384	26,300	25,451	24,570	22,908		
	イ	kℓ/年	6,397	7,584	7,543	7,794	7,793	7,213		
	ウ	日/年	365	365	366	365	365	365		
対象指標	カ	千円	213,681	220,672	183,074	162,694	220,672	199,975		
	キ	kℓ／日	130	130	130	130	130	130		
	ク									
成果指標	サ	トン	102	100	95	95	93	95		
	シ									
	ス									

事務事業ID	0088	事務事業名	し尿処理費等負担金事業
(3) 事務事業の環境変化・住民意見等 この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 昭和39年1月、気仙地区衛生処理組合が設立され、大船渡市(旧三陸町を含む。)、陸前高田市、住田町のし尿の収集、運搬及び処分に関する事務の共同処理を開始し、平成10年3月に設立された気仙広域連合に引き続き負担金を支出している。			
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)は、開始時期あるいは後期基本計画策定時と比べてどう変わったのか？ し尿及び浄化槽汚泥の収集量は、公共下水道の供用開始地域の拡大等により、平成12年度をピークとして、以降は減少している。 東日本大震災により気仙広域連合衛生センターが浸水し、し尿及び浄化槽汚泥の処理ができなくなったことから、広域連合と構成市町の協議によって、各市町が個別に収集運搬、運搬、処理に係る委託契約を締結し、内陸の処理施設で広域処理を行った。			
この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？ ・ この事務に対する意見・要望はほとんどない。			

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	政策体系との整合性	☐ 見直し余地がある [理由]  ☒ 結びついている [理由]  し尿(一般廃棄物)の適正な収集・処分のためには、広域で共同処理するのが効率的な方法である。	3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映
	公共関与の妥当性	☐ 見直し余地がある [理由]  ☒ 妥当である [理由]  廃棄物の処理及び清掃に関する法律に基づき、し尿の処理は市町村が行わなければならない。	3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映
	対象・意図の妥当性	☐ 見直し余地がある [理由]  ☒ 適切である [理由]  大船渡市のし尿は、下水道、浄化槽、漁業集落排水施設の処理分以外は気仙広域連合で処理している。	3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映
有効性 評価	成果の向上余地	☐ 向上余地がある [理由]  ☒ 向上余地がない [理由]  大船渡市のし尿は、下水道、浄化槽、漁業集落排水施設の処理分以外は気仙広域連合で処理しており、その収集量は人口や汚水処理施設の整備率次第である。	3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映
	廃止・休止の成果への影響	☐ 影響無 [理由]  ☒ 影響有 [その内容]  廃棄物の処理及び清掃に関する法律に基づき、し尿の処理は市町村の義務であり、廃止、休止はできない。	3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映
	類似事業との統廃合・連携の可能性	☐ 他に手段がある  (具体的な手段, 事務事業) ☐ 統廃合・連携ができる [理由]  ☐ 統廃合・連携ができない [理由]  市町村合併等により一部事務組合、広域連合の枠組みが変わらなければ統廃合できない。	3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映
効率性 評価	事業費の削減余地	☐ 削減余地がある [理由]  ☒ 削減余地がない [理由]  広域連合の事業実績(し尿収集量)で支出額が増減するので、削減の余地はない。	3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映
	人件費(延べ業務時間)の削減余地	☐ 削減余地がある [理由]  ☒ 削減余地がない [理由]  業務内容は、負担金の支出であるので、人件費の削減は不可能である。	3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映
公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地	☐ 見直し余地がある [理由]  ☒ 公平・公正である [理由]  最終的に大船渡市全体のし尿処理に係ることであり、全市民が受益者となる。	3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映

事務事業ID	0088	事務事業名	し尿処理費等負担金事業
--------	------	-------	-------------

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

(1) 1次評価者としての評価結果 (2枚目と整合を図ること)	(2) 全体総括(振り返り、反省点)																					
<table><tr><td>目的妥当性</td><td>☒ 適切</td><td>☐ 見直し余地あり</td></tr><tr><td>有効性</td><td>☒ 適切</td><td>☐ 見直し余地あり</td></tr><tr><td>効率性</td><td>☒ 適切</td><td>☐ 見直し余地あり</td></tr><tr><td>公平性</td><td>☒ 適切</td><td>☐ 見直し余地あり</td></tr></table>	目的妥当性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	有効性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	効率性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	公平性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	今後、し尿処理量は、下水道の普及、浄化槽設置世帯の増加に伴い減少し、浄化槽汚泥については、浄化槽の設置増加に伴い増加するものと考えられるが、当面は現状どおり適切なし尿等の処理を継続する必要があることから、負担金の支出を行なっていくこととする。 気仙広域連合においては、平成22年度からの衛生センター包括委託事務が執り進められた。									
目的妥当性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																				
有効性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																				
効率性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																				
公平性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																				
(3) 次年度の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 (ただし、廃止・休止・現状維持は重複不可)	(4) 改革・改善による期待成果																					
<table><tr><td>☐ 廃止</td><td>☐ 休止</td><td>☐ 目的再設定</td><td>☐ 事業統合・連携</td><td>☒ 現状維持</td></tr><tr><td colspan="5">事業のやり方改善 (☐ 有効性改善 ☐ 効率性改善 ☐ 公平性改善)</td></tr></table> (上記方向性に対する具体的な内容) 今後も現状通り事業実施していく。	☐ 廃止	☐ 休止	☐ 目的再設定	☐ 事業統合・連携	☒ 現状維持	事業のやり方改善 (☐ 有効性改善 ☐ 効率性改善 ☐ 公平性改善)					左記(3)の改革改善案を実施した場合に期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。 (廃止・休止の場合は記入不要)											
☐ 廃止	☐ 休止	☐ 目的再設定	☐ 事業統合・連携	☒ 現状維持																		
事業のやり方改善 (☐ 有効性改善 ☐ 効率性改善 ☐ 公平性改善)																						
<table><tr><th colspan="2" rowspan="2"></th><th colspan="3">コスト</th></tr><tr><th>削減</th><th>維持</th><th>増加</th></tr><tr><th rowspan="3">成果</th><th>向上</th><td></td><td></td><td></td></tr><tr><th>維持</th><td></td><td>●</td><td>×</td></tr><tr><th>低下</th><td></td><td>×</td><td>×</td></tr></table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		●	×	低下		×	×
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持		●	×																		
	低下		×	×																		
(5) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策又は特記事項等																						

(職 名) 原則として施策の主管課長

4 事務事業の2次評価結果

2次評価者 市民生活環境課長

(1) 1次評価結果の客観性と出来具合

記述水準(1次評価の記述内容を読んだ段階で選択)

- ☐ 記述不足でわかりにくい
☐ 一部記述不足のところがある
☒ 記述は十分なされている

評価の客観性水準(2次評価を行った後に総合的に判断して選択)

- ☐ 客観性を欠いており評価が偏っている(事務事業の問題点、課題が認識されてない)
☐ 一部に客観性を欠いたところがある
☒ 客観的な評価となっている(事務事業の問題点、課題が認識されている)

(2) 2次評価者としての評価結果

目的妥当性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり
有効性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり
効率性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり
公平性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり

(3) 評価結果の根拠と理由

十分に総括が行われており、適切に執行がなされている。

(4) 次年度の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 (ただし、廃止・休止・現状維持は重複不可)

- | | | | | |
|---|-----------------------------|--------------------------------|----------------------------------|--|
| ☐ 廃止 | ☐ 休止 | ☐ 目的再設定 | ☐ 事業統合・連携 | ☒ 現状維持 |
| 事業のやり方改善 (☐ 有効性改善 ☐ 効率性改善 ☐ 公平性改善) | | | | |

(上記方向性に対する具体的な内容)

下水道の普及により、し尿の処理量は今後減少していくものと考えられるが、市内全域に普及するにはまだ長期を要することから、今後も現状どおり継続して事業を実施する。

(5) 改革・改善による期待成果

左記(4)により期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。また、1次評価と内容が異なる場合には、1次評価の結果も「○」で記入する。
(廃止・休止の場合は記入不要)

		コスト		
		削減	維持	増加
成果	向上			
	維持		●	×
	低下		×	×

5 最終評価結果

(1) 行政経営推進会議等での指摘事項